

08.08.09  
朝

# 「検見川送信所を指定文化財に」

## 日本建築家協会 千葉県に要望書

機能・構成美を評価

国内で初めて国際放送を送信した旧検見川送信所＝千葉市花見川区検見川町＝を市指定文化財として保存してもらおうと、社団法人「日本建築家協会」（JIA）の関東甲信越支部がこのほど、同市の市長や市教委などに要望書を提出した。

同協会によると、送信所は1926年に完成。旧通信省で東京中央郵便局＝東京都千代田区＝などを手がけた、建築家吉田鉄郎が設計。建築全体に丸みを持たせ、リズムミカルに並ぶパラボラーチ窓を配した。30年、当時の浜口雄幸首相がロンドン海軍軍縮会議の締結について演説したラジオ放送を欧米向けに送信。国内初の国際放送となった。



今も残る旧検見川送信所＝千葉市花見川区検見川町

同支部保存問題委員会の委員、安達文宏さんは送信所について「一見するとシンブルな建築だが、大正末期に広まったモダニズム建築のはしりとして価値がある」とする。敷地・建物とも現在、千葉

市が所有。市が実施する検見川稲毛土地区画整理事業で敷地は中学校を新設するための用地となっている。送信所の歴史や現状を考えようと住民有志が昨年、「検見川送信所を知る会」を結成した。